

平成30年 第7回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 平成30年7月20日（金） 午後2時
- 2 招集場所 大河原町役場 議員執務室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、古山陽子委員、齋一志教育長
- 4 説明のため出席した者
教育総務課長 尾形 彰、生涯学習課長 八島 良隆、学校教育専門監 池田 尚人
- 5 開 会 午後2時
- 6 平成30年第1回教育委員会臨時会会議録の承認について
舟山委員 （委員全員に諮って）承認する。
齋教育長、一盃森委員 署名。
- 7 平成30年第7回教育委員会定例会会議録署名の委員指名について
舟山委員 | 舟山委員、丹羽委員を指名する。
- 8 教育長報告
※なし
- 9 議事
議案第20号 平成31年度使用教科用図書採択調整案について
(説明者：齋教育長)
平成31年度使用教科用図書採択調整案について説明する。資料は別紙資料である。(詳細は資料参照)

舟山委員 （委員全員に諮って）承認する。
- 10 その他
(1) 教育長報告
(説明者：齋教育長)
資料は別紙資料である。
I 事務局 各学校の動き
1 大河原町 要保護（生活保護）家庭 準要保護家庭の推移（過去5年間）

- 小学校 要保護 ・ 準要保護 児童数生徒数増だが、世帯数はほぼ横ばい
- 2 社会を明るくする運動 パレード
7月3日(月) オーガ 高温の為、大小鼓笛隊中止
 - 3 町民レクリエーション大会
7月2日(日) ビニールバレー・ペタンク・ソフトボール・フランドゴルフ
 - 4 手をつなぐ親と教師の会
7月1日(土) 素晴らしかった ハンドベルの演奏
雲層範子さんの語り、中村哲さんのオカリナ、リコーダー、キーボード演奏
 - 5 大河原地区租税教室推進協議会
6月26日(月) 11時～合庁 租税教室開催 税に関する作品募集
 - 6 特別支援連携協議会、同 コーディネーター等連絡委員会
7月4日(水) 役場 大会議室
講師 角田市立金津中学校 教頭 井澤 和人先生
演台 「学びの場」の決定と合意形成 ・ ・ ・グループワーク
 - 7 大河原小学校 開校記念日 教育長講話「大河原小学校が火事になった日」

II 教育長会議から

- 1 学力向上 加速化するために
「5つの提言」の確実な実践 各種学習調査等の積極的な活用
「協働による授業づくり(見合う、考えあう)」 中学校区による連携
- 2 問題行動 改善するために
「行きたくなる学校」づくり 積極的な連携(保護者、校種間、関係機関)
不登校出現率高い学校 ・ ・ ・心のサポート班積極的な活用
- 3 課題 心のケア配慮を継続していく
温かく接する日常的な指導を 命の尊さや生きることの素晴らしさ
大切な命を預かる学校
- 4 夏季休業中の勤務について
「日直を置かない日」 8月13日(月)～17日(金) 連続的に休める日の設定を工夫
中学校部活休止
- 5 教職員の事故防止(風通しのよい職場づくり)
非違行為の防止 体罰の根絶 信用失墜行為の禁止 情報等の管理徹底
教育課程の管理 施設設備の管理 教員としての服装 気持ち良い電話の対応
- 6 児童生徒 夏季休業中の指導
事前指導徹底を 自画撮り被害の防止 ゲーム スマホの使用について再確認
※大河原ルール 学校ごとの決まり 定期的調査による意識向上を
- 7 教科書採択について
平成30年度採択 小学校の道徳以外の教科、中学校の道徳、一般図書

(話題提供)

1 生涯学習課

大河原中学校 子育て講座 男子 おむつ交換と妊婦体験全員参加

2 大河原中学校3年道徳 わすれられないおくりもの …死は終わりではない

3 新学習指導要領実施に伴う授業時数確保について

指導要領の改定による時数の変遷

小学校4・5・6年生時数比較

○平成元年度 学校週6日 総時数1015時間

○平成32年度 学校週5日 総時数1015時間

<問題点>

- ・6校時までの授業が増えるため、児童を追い立てる毎日となり、そのことでいじめ、不登校の増加が予想される。
- ・学級閉鎖・臨時休業があった場合、標準時数確保は難しくなる。
- ・外国語・外国語活動 モジュールで実施する場合、ALT等の配置が困難となり、教員の負担が増える。
- ・1日あたり授業時数を増加させる場合、教員負担増 時間外勤務を助長させてしまう。

<対策>

- ・長期休業日を減らし授業日数を増やす場合、年間で計4日確保する必要がある。
- ・夏季休業は中学校県中総体や温暖化のため、減らすことは困難である。

以上の事をふまえ、まず、平成31年度は冬季休業日を二日間減らし、状況を調査する。

(質疑)

一盃森委員

そもそも週6日で実施していた時数を週5日で実施するというのが問題になっている。現状を理解すれば保護者の理解も得られるのではないか。

子供たちも先生もゆとりがないとますます忙しくなり、余裕がなくなってくる。

舟山委員

祝日も増えているので、標準時数確保はそれも考慮していく必要がある。

専門監

小学校はインフルエンザ罹患による臨時休校が多い。共働きも増えているので、学校の長期休業中は、実際働いている保護者がほとんどである。

舟山委員

検討案で試行してみて、近隣市町の動向も踏まえながら本格実施へという方向で良いのではないか。

丹羽委員

就学援助の世帯数が増えてないということだが、決して経済状況は良くなるはなっていない。法要やお参りも軒並み件数が減っている。

また、子育て講座の話だが、これからの時代、夫婦が子育てをお互いに助け合うことを学ぶことはとても大事である。

道徳の授業は、闘病中の先生の姿勢や立場が子供たちに浸透し、素晴らしい授業となっていたのだと思う。

古山委員

先生方の研修は長期期間中に多いのか。

専門監
教育長

夏休みが特に集中している。実際は勤務をしているのが現状である。
町内の学校では、先生方は日常的に超過勤務が続いているので、長期期間中の研修終了後午後 3 時以降は、直接帰宅するように申し合わせている。学校期間中は年休の取得が難しいので、回復措置として実施を促している。

一益森委員

教育長さんからそのような配慮を促されているのは非常にありがたいと思う。
先生方はいつも子供たちのために向き合っている。

(2) 各課長報告

(説明者：教育総務課長、生涯学習課長)

9月の行事予定を説明申し上げる。別紙資料である。

1 1 次回教育委員会の開催日程について

舟山委員長 | 次回の定例会は、平成 30 年 8 月 23 日 (木) 午後 2 時から開会する。

1 2 閉会宣言 午後 3 時 45 分

平成 30 年 8 月 23 日

署名委員

署名委員